

『受かる電験2種一次 理論』正誤表

ISBN : 978-4-485-10221-3

版刷 : 第1版第1刷

発行日 : 2017年10月27日

正誤表作成日 : 2024年5月16日

ページ	箇所	誤	正
88	問題1 図1	$6\ \Omega$	$6\ A$
89	問題2 4行目	電流 I_A を	電流 $I\ [A]$ を
	問題2 図2中	$\uparrow V_{pq}$	$\downarrow V_{pq}$
99	最下行	波高率 = $\frac{\text{最大値}}{\text{実行値}}$ =	波高率 = $\frac{\text{最大値}}{\text{実効値}}$ =
107	例題 4行目	$\omega\ [\text{Rad/s}]$ のとき	$\omega\ [\text{rad/s}]$ のとき
115	例題 4行目	$I_1 = AV_2 + DI_2$	$I_1 = CV_2 + DI_2$
	例題 7行目	上表の結果を	上式の結果を
175	問題1 選択肢(ル)	$(L_1 + L_2) \frac{di}{di}$	$(L_1 + L_2) \frac{di}{dt}$
215	例題 3行目	これら図において	これらの図において
	例題 12行目	直流電流系の	直流電流計の
231	問題2 下から1行目	電流計 A_0 を	電流計 A_1 を
232	1行目	電流計 A_0 に	電流計 A_1 に
233	問題2 解答	(3)—(ニ), (4)—(イ), (5)—(チ)	(3)—(ル), (4)—(イ), (5)—(ロ)
234	1行目	が成立する.	が成立する. A_1 の内部抵抗は, (5)で示すように $0.495\ \Omega$ となるので,
	2行目	$\frac{50}{R_2 + 50} \times 5 =$	$\frac{0.495}{R_2 + 0.495} \times 5 =$
	3行目	$R = 2\ 450 \cong 2.45 \times 10^{-3}$	$R_2 = 24.75 - 0.495 = 24.255$
	4行目	一番近い値は(ニ)となる.	一番近い値は(ル)となる.
	8行目	$2\ 450 + 0.495 \cong 2\ 450.5$	$24.75 + 0.495 \cong 24.75$
	下から3行目	$= \frac{1.5}{0.495 + \frac{10 \times 2\ 450}{10 + 2\ 450}}$ $\cong 0.143\ 5$	$= \frac{1.5}{0.495 + \frac{10 \times 24.75}{10 + 24.75}} \cong 0.197\ 3$
	下から2行目	$= \frac{\frac{10 \times 2\ 450}{10 + 2\ 450} \times 1.5}{0.495 + \frac{10 \times 2\ 450}{10 + 2\ 450}}$ $\cong 1.43$	$= \frac{\frac{10 \times 24.75}{10 + 24.75} \times 1.5}{0.495 + \frac{10 \times 24.75}{10 + 24.75}} \cong 1.40$

ページ	箇所	誤	正
235	1行目	$= \frac{1.43}{0.1435} = 9.97$	$= \frac{1.40}{0.1973} \doteq 7.1$
	2行目	$10 - 9.97 = 0.03 \Omega$	$10 - 7.1 = 2.9 \Omega$
	3行目	図 3 が一番誤差が少なく	図 2 が一番誤差が少なく

新たに判明しました正誤は、小社ホームページに掲載させていただきます。

下記 URL にアクセスして「キーワード検索」に書名を入力し、詳細ページでご確認ください。

<https://www.denkishoin.co.jp/>